



2023 年度 授業の試行的実践

個別の指導計画をつくろう

開催日時：2023年6月19日(月)16時30分～18時00分

実施方法：対面

授業担当：中島武史，岡村章司，小川修史（学部・インクルーシブ教育実践論）

主 催：インクルーシブ教育チーム

新設される「インクルーシブ教育実践論」では、インクルーシブ教育を実践する素養を高めることを目的としています。授業内容である「個に応じた指導や支援」における「個別の指導計画・個別の教育支援計画の概要」を本授業では取り扱いました。学部生が個別の指導計画を作成する実行可能性を見出すことを目的として試行的授業を実施しました。

日時は2023年6月19日（月）で、受講者数は学部1年生が中心で15名でした。最初に難聴である児童が示す授業中の様子の動画を視聴してもらいました。その上で、グループワークを行い、目標設定、支援内容や方法について検討してもらいました。その際、通常の学級担任として、対象の児童に限らず、学級全体に実施する支援内容を含めて検討するよう教示しました。その結果、本授業までの授業の中で様々な障害について学んできた知識を踏まえて、学生から様々な支援のアイデアが出されました。

講義後のアンケートでは、授業の満足度は高く、学生は思考する機会が多かったと回答し、グループワークで学生が主

体的に思考したと伺える記述がみられました。また、「授業を聞かない、理解できないのを頭ごなしに叱るのではなく、まずはなぜできないのかをしっかり考えることが大切だ」といった、今後の教師として自らの姿勢に言及した記述もみられました。「対象者のみならず全体の授業の向上につながる話である」といった、個別の指導計画をもとに学級全体の授業改善を行う必要性を指摘した意見もあったことから、「インクルーシブ教育基礎論」において、インクルージョンは自身の問題であるといった認識を促すことが個別の指導計画案をより充実させると考えられます。以下は、動画の1コマです。

